

## Part 1 基本情報

## 1. トルコプロフィール

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 正式名称   | (和文)トルコ共和国<br>(英文)Republic of Turkey   |
| (2) 政体     | 共和制  |
| (3) 首都     | アンカラ   |
| (4) 面積     | 78万576平方km   |
| (5) 人口     | 7,370万人(2010年12月)  |
| (6) 民族     | トルコ人、クルド人、アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人など  |
| (7) 言語     | 公用語 :トルコ語  |
| (8) 宗教     | 大部分がイスラム教、その他ギリシャ正教、アルメニア正教、ユダヤ教等  |
| (9) 略史     | 1299年オスマン朝興る。最盛期にはバルカン、アナトリア、メソポタミア、北アフリカ、アラビア半島に及ぶ大帝国に発展。1922年オスマン・トルコ帝国滅亡、同23年共和国宣言。   |
| (10) 在留日本人 | 1,507人(2011年3月)  |
| (11) 気候    | トルコの気候はマルマラ海、地中海、エーゲ海沿岸地方の地中海性気候、アナトリア半島内陸地方の大陸性気候、黒海沿岸地方の温帯湿潤気候の3つに大きく分けられる。首都アンカラの気温は冬の最低気温が-10℃以下、夏の最高気温が35℃以上になり、寒暖の差が大きい。 |

【参考】  
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省

## 2. 業務のための基礎データ

## (1) JICA事務所の概要(トルコ事務所)

住所 : MNG Building 6th floor B Block, Ugur Mumcu Caddesi 88/6  
Gaziosmanpasa, 06700 Ankara Turkey  
連絡先 : 国番号 : 90  
市外局番 : 312  
電話 : +90-312-447-2530~3  
FAX : +90-312-447-2534  
URL : <http://www.jica.go.jp/turkey/>  
E-mail : [tk\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:tk_oso_rep@jica.go.jp)  
執務時間 : 9:00~17:30(昼休み12:30~14:00)

休日：2011年は下記を休日とした。

1月10日(月)	成人の日
2月11日(金)	建国記念の日
3月21日(月)	春分の日
4月29日(金)	昭和の日
5月19日(木)	青年とスポーツの日
7月18日(月)	海の日
8月29日(月)	砂糖祭前日
8月30日(火)～9月1日(木)	砂糖祭
9月23日(金)	秋分の日
10月28日(金)	共和国記念日前日
11月7日(月)～9日(水)	犠牲祭
11月23日(水)	勤労感謝の日
12月23日(金)	天皇誕生日

事務所(アンカラ)までの交通：

【アンカラ空港から】

アンカラ空港とオンドクズ・マユス・スタジアム(アンカラ駅より徒歩10分)を経由したASTI(長距離バスターミナル)の間にはリムジン・バス(HAVAS)の便があり、料金は10TLである。ただしオンドクズ・マユス・スタジアムからホテルまではタクシーを使う必要がある。

空港から市内へ直接タクシーを利用すると約70～80TLとなる(外環状ハイウェイを利用すると約100TL)。

英語を話せない運転手が多いので、事務所の住所を運転手に見せること(事務所のあるMNGビルはトルコ語で「メーネーゲー・ビル」と言えば通じる)。

(2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、サマータイム  
 日本との時差 : -7時間  
 サマータイム : 3月最終週の日曜日から10月最終週の土曜日まで。日本との時差は-6時間となる。
- (4) 祝日、官公庁の休日  
 祝日 : 5月19日(木) 青少年とスポーツ日  
 8月30日(火)~9月1日(木) 砂糖祭(シュケル・バイラム)  
 11月7日(月)~9日(水) 犠牲祭(クルバン・バイラム)  
 休日 : 土曜日、日曜日
- (5) ビジネスアワー  
 8:30~12:30、13:30~17:30(官庁により若干変動あり)  
 銀行 9:00~17:00(土日休み)  
 商店 9:00~19:00  
 (日曜日は休業の店が多い。但し、スーパーマーケットや大規模ショッピングセンターは営業)
- (6) 言語  
 業務: 英語はあまり通じない。必要に応じて英語からトルコ語への通訳をつける  
 ホテル、買い物、食事: ホテルでは英語が通用する。買い物、食事などでは英語が通用しないので、トルコ語が必要
- (7) 通貨  
 通貨 : トルコ・リラ(TL)
- (8) 通貨レート  
 為替レート : 1米ドル=TL1.5974 (2011年3月現在)
- (9) 関係機関  
 【在外日本関係機関】  
 ●日本大使館  
 住所 : Resit Galip Cad. No.81, Gaziosmanpasa, Ankara  
 電話 : 312-446-0500 FAX : 312-437-1812  
 勤務時間 : 9:00~13:00、14:30~18:30(土日は休み)  
 URL : <http://www.tr.emb-japan.go.jp>  
 【トルコの関係官公庁】  
 ●首相府国家計画庁(Prime Ministry Undersecretariat of State Planning Organization: SPO)  
 URL : <http://www.dpt.gov.tr>  
 備考: JICA の窓口機関。主要経済データを入手することができる。  
 ●首相府財務庁(Prime Ministry Undersecretariat of Treasury: UT)  
 URL : <http://www.treasury.gov.tr>  
 備考: 海外からの資金協力の窓口機関。主要経済データを入手することができる。

## ●外務省

URL: <http://www.mfa.gov.tr>

備考: 外交政策、ニュース、トルコの概要に関する情報を入手することができる。  
ニュースサマリーは、首相府プレス情報総局が編集したものと国営アナトリア通信が編集したものを見ることができる。

## ●国家統計局(Prime Ministry State Institute of Statistics)

URL: <http://die.gov.tr>

備考: 各種統計データを入手することができる。

## ●首相府プレス情報総局(Prime Ministry Directorate General of Press and Information)

URL: <http://www.byegm.gov.tr>

備考: 「Turkish Press Review」でニュースを入手することができる。また、「ARCHIVE」で 1996 年以降のニュースを入手できる。

## ●民営化庁(Prime Ministry Privatization Administration)

URL: <http://www.oib.gov.tr>

備考: 民営化プログラム、民営化庁の出版物に関する情報を入手することができる。

## ●首相府外国貿易総局(Prime Ministry Undersecretariat of Foreign Trade)

URL: <http://www.foreigntrade.gov.tr>

備考: 外国貿易に関する統計(輸出入統計など)、フリートレード・ゾーンなどの情報を英語で入手することができる。

## ●トルコ大国民議会(国会)(Turkish Grand National Assembly)

URL: <http://www.tbmm.gov.tr>

備考: The Constitution of the Republic of Turkey を選択するとトルコ共和国憲法を英語で検索することができる。また、上記以外はトルコ語だが、トルコ政府機関にリンクすることができる。

## ●国立図書館(National Library)

URL: <http://www.mkutup.gov.tr>

## ●大蔵省(Ministry of Finance)

URL: <http://www.maliye.gov.tr>

備考: 国家予算の情報を入手することができる。

## ●中央銀行(Republic of Turkey Central Bank)

URL: <http://www.tcmb.gov.tr>

備考: IMF ミッションに関する情報、金融関係の統計情報、中央銀行出版物(Weekly Press Bulletin, Annual Report, Monthly Statistical Bulletin など)の情報を入手することができる。

## ●内務省

URL: <http://www.icisleri.gov.tr>

備考：トルコ語の情報が多いが、内務省のホームページから「Local Administrations in Turkey」を選択すると、地方自治制度に関する情報を英語で入手することができる。

●観光省

URL：<http://www.turizm.gov.tr>

備考：トルコの一般情報、観光情報を入手することができる。

(10)有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

## Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、イスタンブールの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅

## 1-1 ホテル

イスタンブール市内の主なホテルは次のとおりである。また、各ホテルの詳細な情報は、<http://www.istanbul.com>を参照。

<デラックスおよび5つ星ホテル>



- The Ritz Carlton Istanbul
- Conrad Istanbul
- Swiss Hotel
- The Marmara Istanbul
- Divan
- Hilton
- Hyatt Regency
- Sheraton Towers and Hotel

<4つ星ホテル>

- Nippon
- Point
- Holiday Inn
- Savoy Hotel

## 1-2 住宅事情

イスタンブールには家賃の安価な一戸建ては少なく、専門家が入居できる家賃の物件は、ほとんどがアパートである。家具付き・電話付き物件は一般的ではないが、探せば見つかる。家具付き住宅はアジア側よりヨーロッパ側に多く見られる。日本人は、ヨーロッパ側では日本人学校至近のEtiler地区またはボスポラス海峡沿いに、アジア側ではバクダット通り沿いに比較的多く住んでいる。

治安は比較的よいが、盗難件数は増えている。ただし、個人でガードマンを雇う習慣はまったくない。なお、シテと呼ばれるコンパウンドでは、敷地内の警備体制が整っているところが多い。

家賃は年々上昇しており、支払いは米ドル現金(1年前払い、交渉により半年前払い)が一般的である。また、契約期間は通常最低1年間であり、1年未満では解約できないケースが多い。

## 1-3 住宅の探し方

不動産会社を仲介して探すのが一般的である。不動産会社は多数ある。また、新聞広告(安価)を出し、家主と直接交渉することも可能である。

よく利用されている不動産会社は以下のとおりである。

- Yellow Page ・Nazmi Yapar
- ・REMAX

#### 1-4 住宅選定上の留意点

一般にアパートは、外見がよくても使い勝手はかなり悪いということを覚悟したほうがよい。水回り、暖房機能、立て付けなどが万全ではなく、日本人には快適でないことが多い。よい住宅を見分けるのは容易なことではない。

物件は多いが、家具付き住宅は少ない。しかし、多少時間をかけても家具付き住宅を探すことを勧める。一戸建てで家具付き物件が見つからない場合は、家主と交渉し、家具を揃えてもらう方法もある。この場合の「家具」とは、冷蔵庫、洗濯機、温水器、ガスレンジ、応接セット、食卓、ベッド、洋ダンス、食器棚、カーペット、照明器具、カーテンなどである。

防犯対策としては、2階から上の部屋を借りるのが無難である。ただし、停電が多く、その間はエレベーターも使用できなくなるため、あまり高い階になると不便である。最近建設されたアパートには、非常用発電機を整備しているところも多く、すべての電力を供給できなくても、安全上必要な箇所の電力を供給しているケースが見られる。

電話は、入居時にすぐに使える状態であるかどうかを確認すること。入居後の取り付けとなると何カ月も待つことになるので、そのような物件は避けたほうがよい。外国人名義で契約するのは大変困難なため、家主またはトルコ人の友人の名義を借りて契約する。

エアコンはたいていついていないが、必要性も低い。暖房は集中暖房であることを必ず確認する。また、風呂用温水器とは別に、アパート全体の給湯設備があるかどうか留意したい。

断水がよく起こるが(特にヨーロッパ側が多い)、水道水は各アパートのタンクにたまるシステムなので、短時間の断水であればほとんど影響はない。

各アパートには住み込みのカブジュ(門番兼雑役夫)がおり、建物の管理、買い物、新聞の配達、掃除、ゴミ出しなどを行ってくれる。防犯上安心であり、大変便利である。

#### 1-5 住宅の契約

契約期間は通常1年単位である。任期終了時のことを考慮し、契約書には「1年経過後は、1カ月前に通告すれば解約できる」という旨を必ず盛り込むこと。

トラブルがあった時には契約書をもとに解決することになるので、契約期間、電化製品・家具などの破損時の支払い分担、家具の保証金、電話の保証金の返済方法(これら保証金を最終月の家賃に充当させるなど)を契約書に盛り込むとよい。

イスタンブールでは、契約時の保証金は主に電話代のためという感が強い。これは、電話料金が高いことと、退居者の未精算によるトラブルが多いからである。また、配電や給排水の不備、電化製品の故障、家具の破損などは、必ず入居前に修理を済ませてもらうこと。

家賃は通常1年前前払いであり、支払いは米ドル現金である。その際、電話の保証金として、家賃1カ月分、家具の保証金1カ月分程度を合わせて請求されることがある。家賃には、電気代、水道代、カプジュ費、共益費などが含まれる場合と、そうでない場合がある。できれば家賃に含まれているタイプのアパートを選ぶとよい。

不動産会社には手数料として、通常、年間家賃の10%前後を支払うことになる。

### 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電話、電気、ガス(最近は天然ガス利用もあるようだが、基本的にはプロパンガスボンベ)、水道すべてに関して、不動産会社または家主の名義で契約し、使用開始手続きを代行してもらうのが一般的である。トルコ語を理解しない外国人による作業は至難の業である。

トラブル発生時には、集合住宅の場合には管理人に、一戸建ての場合には家主、不動産会社に依頼して解決する。ゴミに関しては、毎日収集サービスがあり、集合住宅の場合には、管理人が集めてくれるケースが多い。

し尿処理は、水洗トイレのため、問題はない。

### 1-7 家電

#### (1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzである。日本から持参した製品を使用するには変圧器が必要。パソコンなどには、スタビライザー、UPSを利用するケースも見られるが、それほど大きな電圧変動もないようである。万が一に備えて利用するという程度。

#### (2) コンセント、モジュージャックの形

プラグはC型である。日本製品に限らずC型以外のプラグはアダプターが必要である。モジュージャックは日本と同型。



コンセント

#### (3) 家電製品

大半の家電製品は現地で調達できる。好みにもよるが、日本から持参したほうがよいものは、炊飯器、日本語仕様のパソコン(現地ではトルコ語または英語仕様)程度であろうか。

### 1-8 家具保険

家具付きの住宅の場合は、家主が保険をかけている例が多い。

### 1-9 その他

長期滞在者向けに、ホテル形式のアパートもある。台所用品から大型冷蔵庫、レンジ、ベッド、ソファ、テレビなどが備えられている。

## 2. 衣料、理容

### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

夏は6～9月、冬は11～4月で、春と秋は非常に短い。夏は最高気温が摂氏38度になることもあるが、日本ほど湿度がないため過ごしやすい。冬は長く、かなり寒い。したがって、衣料品は夏物、冬物、合服すべてが必要である。ただし、冬は暖房が充実しているため室内では厚着の必要はない。冬物に関しては、ダウンコート等の十分な外着を準備されたい。

市内には、輸入品店を含め、多くの衣料品店がある。デザイン的には種類が多いが、日本人の体型に合わないことが多い。体型の違いは乳幼児や子供の場合に顕著であり、服の丈、胴回り、首回りなどがフィットしないことがあるので、注意を要する。

店によっては、ズボンの丈を直してくれるし、オーダーメイドの店でも、既製品の寸法直しが依頼できる。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

##### <男性>

下着類、ワイシャツ、背広、ブレザー、セーター、ネクタイ、靴下、靴、雨具、スポーツウエアなど。

##### <女性>

下着類、合服、ブラウス、スカート、スラックス、セーター、ブレザー、パンティーストッキング、タイツ、靴下、靴、雨具、スポーツウエア、夏季用の帽子、日傘など。

##### <子供>

滞在中の成長を考慮して、各種、サイズを取り揃えておく。特にシャツ、ソックス、靴などは消耗が激しいので多めに用意すること。

##### <乳幼児>

肌着、おむつ、おむつカバー、寝間着など。紙おむつは、スーパーマーケットや薬局で購入できる。

#### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

寝具類は、タオルケットを除き、国産品で十分に間に合う。バスタオル、バスローブなどは品質もよく、安価で入手できる。皮革工業が盛んで、革ジャンパー、コート、ハンドバッグなどは比較的よいものが安値で入手できる。ハンドバッグ類の

オーダーメイドも可能である。

毛糸類も豊富で安値であるが、編み棒は持参したほうがよい。

#### (4) その他の留意点

ドライクリーニングは、きめ細かな仕上げは期待できないが、特に問題はない。価格は日本よりやや高めである。

レインコートをはじめ、雨具は持参することが望ましい。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

1月には在イスタンブール日本総領事館主催の新年会、12月にはイスタンブール日本人会主催の忘年会がある。男性はスーツにネクタイ着用、女性はワンピース、ドレス(ロングは不要)着用が一般的である。

### (2) 式典

男性はスーツにネクタイ着用、女性はワンピースかドレスでよい。

### (3) 冠婚葬祭

葬儀でも普段着で特に問題はないが、職場の関係者などの葬儀の場合は、男性はスーツ、女性もスーツかワンピースは必要であろう。結婚式の場合も、友人は普段着でも問題はないが、結婚式のランクによっては、日本よりも正装が要求されるケースもある。

### (4) その他の留意点

基本的には、正式な礼服などは特に必要ない。しかし、配属先や付き合いなければならない人々のレベルによっては必要となるケースもある。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

洗濯機、アイロンは多数市販されており、容易に入手できる。洗剤、柔軟剤、洗濯のり、漂白剤もすべて揃っている。

ドライクリーニング店があり、仕上がりもそれほど問題はない。

### (2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服ともに仕立店がある。縫製技術はかなりのものであるが、使用する糸や裏地の品質はよいとはいえない。修繕も仕立店に依頼するとよい。

### (3) 保管

湿度が低いので、カビの心配は少ないが、防虫対策は必要である。ナフタリンなどの防臭剤は現地で入手できる。

## 2-4 美容院、理髪店

上流階級のトルコ人は身だしなみに気をつかうため、美容院は多数ある。日本と同様に、カット、パーマ、シャンプーはもちろんのこと、染髪やマニキュアのサー

ビスもある。料金は安い。理髪店も多数あり、日本と同様のサービスを受けられる。

美容・理髪用品は、ヨーロッパ、アメリカ製品を中心に輸入品が多数出回っているため、特に問題はない。日本製品はまったくないので、使い慣れたものがあれば持参したほうがよい。

### 3. チップ

#### 3-1 チップ事情

##### (1) 習慣の有無

チップの習慣あり。

##### (2) 各種サービスに対するチップ

レストランでは、2YTL/人程度（一家族で5YTL程度）。おつりがない場合は支払い時に上乗せして払うが、おつりがある場合は、いったん支払いを終えたあと、勘定書が入っていたボックスなどに入れる。

ホテルのポーターには、荷物を部屋に届けてくれた際に、1～2YTL程度を渡す。

### 4. 食生活

#### 4-1 外食

##### (1) 一般事情

下記参照。

##### (2) 飲食店

イスタンブール市内にはレストランが数多くあるが、トルコ料理が主体である。トルコ料理の店には、肉料理と魚料理の店がある。若者向けのピザハウス、ハンバーガーショップも多い。市内には中国料理店のほか、日本料理店、韓国料理店などがある。主なレストランは次のとおりである（住所などの詳細はPart3イエローページを参照）。各店について、より詳しい情報を知りたい場合は、<http://www.istanbul.com> を参照。

##### <日本料理>



- ・Miyako
- ・豊
- ・優曇也(うどんや)

##### <韓国料理>

- ・Tegik
- ・Seoul

##### <中国料理>

- ・Dragon
- ・Dynasty

- ・Ku Kong
- <トルコ料理>
- ・Beyti
- ・Hacibaba
- <魚料理>
- ・Mavi Balik
- ・Urcan
- ・Korfez
- ・Han

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

味にこだわらなければ、日本食品を除いて、たいていのものは入手可能である。輸入品もかなり出回っている。夏場は極端に葉ものが減り、魚もなくなるので、食生活は単調になる。夏場の魚はノルウェーから輸入した冷凍サバかイワシ程度となる。

### (2) 主な食品の出回り状況

#### <米>

さまざまな品質のトルコ産米が年中豊富に出回っている。なかには日本的な炊き方で食べられる品種(Calrose、Baldoなど)もある。そのほか、カリフォルニア米、パキスタン米、タイ米なども入手できる。なお、モチ米は入手できない。

#### <小麦粉>

強力粉、薄力粉はないが、トルコ産の中力粉はどの食料品店でも入手できる。

#### <パン>

食パンは日本のパンよりきめが粗く、パサパサしているが、バケット類は美味である。菓子パン、ケーキも豊富にある。

#### <肉・乳製品>

牛肉、羊肉、鶏肉は、好みの部位を容易に入手することができる。牛肉は安価であるが硬く、うまみに欠ける。ただし、ヒレ肉は軟らかく美味。豚肉もヨーロッパ側のチチェック・バザールで時折入手することができる。牛乳、チーズ、ヨーグルト、バター、生クリームやハム、ソーセージ、サラミなどもあるが、味は日本のものとは少し異なる。

#### <魚介類>

種類はそれほど多くないが、量的には豊富である。7、8月の禁漁期を除けば、季節によりアジ、イワシ、サバ、タイ、カツオ、カレイ(イボガレイ)、スズキ、イカ、タコ、エビ、時にはマグロなども入手できる。一般に大味で身は軟らかく、身崩れするので、刺身にするには扱いにくい。貝類ではムール貝が一般的で、広くトルコ人に食されている。ほかの貝類はほとんど見かけない。

### <野菜>

一年中あるのはタマネギ、ジャガイモ、キュウリ、トマト、長ネギなどである。冬はキャベツ、大根、カブ、ニンジン、ホウレンソウ、カボチャ、カリフラワーなどが出回る。夏はナス、ピーマン、インゲン、ソラマメ、レタス、トウモロコシ、赤カブなどが出回る。ほかに洋野菜も数種類出回っている。ゴボウ、サツマイモはない。ショウガ、白菜なども時々市場に出る。

### <果物>

種類は豊富にあり、非常に安く、季節ごとの味が楽しめる。イチゴ、サクランボ、ビワ、黄桃、ブドウ、リンゴ、メロン、スイカ、イチジク、ザクロ、オレンジ、ミカン、グレープフルーツ、バナナ、柿、栗、洋ナシなどがある。輸入もののキウイ、バナナは高価である。

### <調味料>

さまざまな種類の洋風スパイスがある。みそはないがしょうゆ（日本製および中国製）、中国料理用のスパイスも入手可能。酢は、ワインビネガーとアップルビネガーがある。

### <食用油>

オリーブ油、ヒマワリ油、コーン油、マーガリンがある。ゴマ油も時々見かける。

### <酒類>

数種類のワイン、ビールが国内生産されており、いつでも容易に入手できる。味もなかなかのものである。また、トルコの地酒ラクは、トルコの人々の間でよく飲まれている。輸入品のウイスキー、ブランデーは割高であるが、現地物のウイスキーはなかなか美味で安価。ウオツカ、リキュール類も豊富にある。

### <飲料水>

瓶またはポリ容器入りの飲料水が数種類出回っている。水道水は調理には使用できるが石灰分が多い（特にヨーロッパ側）ので、飲料には適していない。コーラ、ジュース類は豊富にある。

### <菓子類>

ビスケット、クッキー、チョコレート、キャンデー、ガム、ポテトチップス、アイスクリームなど、数多くある。町なかにはケーキ店があり、デコレーションケーキや切り売りのケーキもある。

一般に、ケーキやチョコレート（ネスレ製品）、インスタントコーヒーの「ネスカフェ」は、ほかの物価と比較して割高である。場所によりコーヒー豆も販売されている。

### (3) 食料の入手

イスタンブール市内にはスーパーマーケットの「ミグロス」が数多くあり、食料品だけでなく、生活必需品も豊富に売られている。また、各地で定期的にかかれるバザール（市場）や一般商店、小型スーパーマーケットがいたるところにあり、食料品の入手は容易である。

日本食品の入手は種類が限られるので、赴任時に持ち込むことを勧める。また、国外旅行でパリ、ロンドンなどで購入することも可能である。ラマダン明けの祭の時期などは(少量であれば)無税で持ち込み可能である。

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

トルコ製の食器、調理器具は豊富にあり、入手は容易であるが、使い勝手はよいとはいえない。ガラス製品にはよいものがあるが、そのほかの洋食器の質はよくない。和食器はまったく輸入されていないので、必要なものは持参することを勧める。時間的な余裕があれば、和食器として流用可能な食器を見つけることも可能。前述の食料品調達と同様、いたるところで入手可能であるため、日本人の間で特定されているような入手先はない。個人の好みしだいである。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

炊飯器、すり鉢、すりこぎ、おろし金、はし、巻きす、盆、竹ざる、急須などは持参したほうがよい。焼き肉用のホットプレートも一部のスーパーマーケットで扱っているが、常時あるとは限らないので持参したほうが安心である。

和食器、はしは最近少しずつ扱う店が出てはきたが、必要なものは持参すること。包丁は一応あるが切れ味の点で物足りないので、持参したほうがよい。

## 5. 生活用品の購入

### 5-1 家電製品

食料品調達と同様、リストアップするまでもない。町なかを1時間も歩けば、何軒もの電気店に遭遇する。

### 5-2 家具

食料品調達と同様、リストアップするまでもない。町なかを1時間も歩けば、何軒もの家具屋に遭遇する。

### 5-3 日用品、雑貨

品質は多少劣るかもしれないが、日本とそれほど変わりはない。購入の簡便性も日本と変わりはない。

### 5-4 工具、素材

むしろ日本以上に充実している。大型スーパーマーケットには日本のようなDIY店が隣接しているケースが多い。

## 6. 金融機関

### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

主要銀行は支店の数も多く、大型スーパーマーケット内にも支店があるため、利便性は高い。一般的には米ドル口座、トルコ・リラ口座を同一銀行の同じ支店で開設し、必要に応じて米ドル口座からトルコ・リラ口座に振り替えて利用する。米ドル現金も米ドル口座からは引き出し自由であるが、5000米ドル程度の高額になると小さな支店ではストックがないこともあるので、電話で事前に確認するか前日に予約を入れておく必要がある。

また、VISAやMasterCardなどのクレジットカードも発行してくれ、インターネットバンキングも大半の銀行で可能である。公共料金の自動振り込みも可能。

日本人がよく利用する銀行は、GARANTI Bank、AK Bank、YAPI KREDI Bankなどであり、外資系ではCitibankもあるが、支店の数は少ない。ローカル銀行の3行については町なかのいたるところに支店があるため、職場や自宅近辺、もしくは常時混雑していないところに口座を開設するとよい。

#### (2) 口座の開設と閉鎖

米ドルおよびトルコ・リラの当座預金口座を開設する。開設時にはパスポートまたはイカメット（滞在許可証「12-1(2) 入国手続き」参照）、税金番号証明書（税務署にパスポートのコピーと必要事項を記入した申請書を提出すると税金番号がもらえる）が必要。開設時に入金の手続きはないが、1年間残高がゼロのまま放置されると自動的に解約扱いとなる。最近はユーロ口座も一般的になってきている。

#### (3) 小切手

小切手を利用した例はない。

#### (4) 換金方法

イスタンブール市内中心街に両替所が多数あり、米ドル、ユーロは両替が容易である。銀行でも両替できるがレートは若干低い。また、トラベラーズチェックは両替が難しい。

### 6-2 クレジットカード

MasterCard、VISAは使い勝手がよく、キャッシュディスペンサーによってはキャッシングも可能。American Expressは使えないところもある。一般に都市部では、トルコ人は小額の買い物でもクレジットカードによる支払いをすることが多い傾向にある。

## 7. 交通事情

### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

##### <道路>

イスタンブール市内の道路はたいてい舗装されている。ただし、保守管理が悪いのでこぼが多く、快適とはいえない。また道路工事が頻繁に行われており、特に夜間は工事現場の表示がないこともあるため、注意する。マンホール部分突出、陥没していることが多いので、慣れない道を走る時には注意が必要である。タクシー、バス、ドルムシュ(乗り合いタクシー)などの運転はかなり乱暴であるため、これらの車が至近距離にいる時には注意する。

1988年、日本の援助でヨーロッパとアジアを結ぶ第2ボスポラス橋が完成し、第1ボスポラス橋とあわせてアジア～ヨーロッパ間は2つの橋梁で結ばれ交通事情の改善が図られた。しかし、その後の交通量の増加は著しく、時間帯によっては第1ボスポラス橋、第2ボスポラス橋は激しい渋滞となるため、アジア側とヨーロッパ側との移動には時間的に余裕を持たせる必要がある。

自動車が主な交通機関であるため、朝夕の渋滞はすさまじい。運転マナーは非常に悪いので、運転の際は接触事故、もらい事故に気をつけること。

イスタンブール市内には信号が多数あるが、故障していることもある。また、信号を無視するドライバーが多いため、道路を横断する際は信号を守るより、車が空いている時に急いで渡ったほうが安全である。

##### <タクシー>

タクシーは非常に多く、7:00ごろから23:00ごろまでは容易に拾うことができる。また、「テレタクシー」と呼ばれるシステムが各地区にあり、電話をすれば5分ほどで自宅まで迎えに来てくれ、大変便利である。料金はメーター制で、24:00を過ぎると5割増しとなる。タクシー料金自体は、ほかの物価と比べて非常に割安である。流しのタクシーは信用できない場合もあるため、アパートやホテルと契約しているタクシーを利用するほうが安心である。

「ドルムシュ」と呼ばれる乗り合いタクシーやミニバスもあり、慣れると便利であるが、運転はかなり乱暴であることが多い。

##### <鉄道>

鉄道は比較的発達しており、アジア側のハイダラパシャ駅からアンカラ、イズミールなどの国内主要都市へ1日にそれぞれ10本程度運行されている。また、ヨーロッパ側のシルケジ駅からはヨーロッパ方面に向けて同様に運行されている。通勤電車も早朝から夜間まで1時間に2～3本走っている。

なお、公共交通機関としてヨーロッパ側タキシム～レベント間の地下鉄がある。

##### <長距離バス>

長距離バス網は非常に発達しており、鉄道より速いので、多くの人が利用している。しかし、事故が非常に多い。バスターミナルはイスタンブール市内のいたる

ところにある。

#### <国内航空>

国内航空線は発達しており、航空会社も国営トルコ航空(THY)をはじめ数社ある。イスタンブール～アンカラ間は1時間に1本程度運航されているほか、ほとんどの主要都市間の航空便のネットワークがある。

#### <船舶>

イスタンブールは三方を海で囲まれており、船の便が非常に発達している。特に、近年就航した高速船は、イスタンブールのヨーロッパ側とアジア側を25分で結んでおり、たいへん便利である。

#### (2) 空港から市内への移動

Havasと呼ばれるシャトルバスがイスタンブール空港(アタチュルク国際空港)～アクサライ～タクシム間を結んでいる(料金YTL8程度)。

空港から市内までは22kmほどで、タクシーなら渋滞していなければ25分ぐらいである(料金YTL20程度)。

#### (3) 自家用車を利用する場合

車両は右側通行である。道路標識はわかりやすく整備されている。しかし、標識や信号を無視するドライバーが多いので、交通事故は非常に多い。道路のあちこちに、車にひかれた犬や猫の死骸が転がっている。歩行者は、車がフルスピードで走っている間を横断するため、運転者側から見ても非常に恐ろしい。しかも、安易にブレーキを踏むと、車間距離がほとんどとられていないため、後続車に追突される危険性が高い。運転するにも、歩行するにも非常に神経をつかう。現地の規定では、いかなる場合でも追突した側に過失責任が問われるが、事故に巻き込まれるのだけは避けたいものである。


免許は日本の免許証を総領事館で翻訳してもらうか、日本で国際免許証を取得する。

#### (4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーシステムは発達していて、各レンタカー会社が空港や大きなホテルに事務所を置いている。

主なレンタカー会社は次のとおりである。いずれもタクシムに事務所がある。また、駐車場を探す手間を考えると、短期利用の場合には運転手付きミニバスをチャーターすると便利である。市内を1日(9:00～17:00)借り切って利用しても、100米ドル程度である。大半の旅行代理店で対応してくれる。

日本人がよく利用しているレンタカー会社は次のとおり(電話番号はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- ・Gemini Tourizm
- ・AVIS
- ・Budget
- ・Eurocar

・Lets

#### (5) 地図

道路地図のほか、市内地図、鉄道路線図、長距離バス路線図などは、書店で購入できる。ホテルのレセプション、タクシムのツーリストインフォメーションなどでも簡易なものは入手可能。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

日本人だけで処理しようとせず、必ずトルコ人に間に立ってもらうこと。カウンターパートなどに現場または病院まで来てもらうとよい。また、保険金の受け取りなどで警察の証明書が必要となるので、最寄りの警察に連絡する。事故現場は警察が来るまでそのままの状態にし、警察の指示に従うこと。警察の電話番号は「155」、救急車は「112」。

### (2) 救急病院

とりあえず近くの病院に入院し、その後、必要に応じてAdmiral Bristol Hospitalなどへ移送してもらう。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

少々面倒でも、車は必ず駐車場へ入れること。カーステレオは取り外しできるものにして、夜は自宅に持ち帰る、荷物を積んだまま長時間駐車しない、などの予防措置をとれば、比較的安全といえる。最近では、住宅地でも路上駐車中の車上荒らしの例を多く聞く。駐車場または警備員などの常駐する場所が安全である。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

自動車は左ハンドル、右側通行である。トルコでは、いかなる状況下でも追突した側に責任があるので、前を走る車の急ブレーキにはくれぐれも注意する。酒酔い運転、スピード違反は夜間によく取り締まっており、違法駐車はレッカー車で持っていかれることもある。ハザードランプを点灯した短時間駐車でレッカー移動された例もある。

### (2) 罰金、罰則

警察官に違反を指摘された場合は、むやみに逆らわず、素直に指示に従うのが得策である。日本人の交通違反の類は、罰金のみで、免許停止や禁固などの例はない。スピード違反についてはレーダーで計測しているため、超過スピードに応じて罰金が設定されている。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

トルコ国産車の部品は問題なく入手できる。外国のメーカーのうち、トヨタ、ホンダ、フィアットは現地生産工場があるので、トルコ国産車同様に入手可能である。外国車でもベンツ、BMW、ルノー、ボルボ、ローバー、クライスラー、マツダ、日産などは、比較的容易に入手できる。

### (2) 修理工場

イスタンブール市内の各所に修理工場があり、ほとんど問題はない。ただし、外国車の修理代はかなり高額である。外国車の場合は、メーカー純正修理工場で対応したほうが無難である。

## 8. 通信

### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

携帯電話を含めて電話の普及率はきわめて高く、長距離や国際電話もダイヤル通話が可能である。

アパートは初めから電話がついているところが多い。新規の電話取り付けも容易で、申し込み後1週間程度で取り付けしてくれる。申し込みは、最寄りのTurk Telekomで用紙に記入して行うが、英語が通じないので、カウンターパートかアパート契約にかかわった不動産会社に同行してもらうとよい。

毎月10日ごろまでに、前月25日ごろまでの電話料金の請求書が送られてくるので、最寄りのPTT(郵便局)で払い込む。料金の請求にはしばしば間違いがあるので、請求は別途申請して明細書付きにしてもらうとよい。なお、銀行口座からの自動引落としにすることもできる。

#### (2) 国内電話

ほとんどの都市ヘダイヤルインによる通話が可能である。公衆電話もあるが、携帯電話の普及にともなって数は多くない。PTT(郵便局)から電話(コントロールテレホン)をすることもできる。公衆電話を利用する場合に必要なテレホンカードはPTTで購入する。カードがない時や地方から自宅に電話する時などは、PTTや最寄りの売店でコントロールテレホンを利用するのが最も安くて便利である。

市外へ電話をかける場合は、「0→市外局番→市内番号」とダイヤルする。

#### (3) 国際電話

ダイヤル直通で国際電話がかけられる。回線状況は比較的良好である。

日本へは「00→国番号81→0をとった市外局番→電話番号」の順でダイヤルする。

日本からアンカラへは、「010(国際電話認識番号)→国番号90→市外局番312→7桁の番号」となる。

主な都市の市外局番は次のとおりである。

アンカラ:312、イスタンブール:212(欧州側)、216(アジア側)、イズミール:232、ブルサ:224、アンタリア:242、トラブゾン:462、アダナ:322、メルシン:324

#### (4) 携帯電話

携帯電話は非常に普及している。プリペイドカード方式の携帯電話であれば外国人でも容易に入手可能である。

販売店はいたるところにある。プリペイドカードはパスポートのコピーを持参すれば直ちに入手できる。

### 8-2 電信

#### (1) ファクシミリ

電話と同様問題ない。ファックス機能付電話は電気店、文房具店で購入することができる。

#### (2) テレックス

ほとんど使われていない。

#### (3) 電報

どのPTTからでも打つことができる。

#### (4) インターネット

インターネットの普及は目覚ましく、プロバイダーの数は急増しており、現在40社以上が存在する。プロバイダーと期間を決めて直接契約する場合と、使用時間の決められたディスクを書店やPCショップで購入して、使用する場合とがある。

### 8-3 郵便

#### (1) 一般事情

宅配システムがあり、日本～イスタンブール間は航空便の場合で約10日かかる。ただし、小型の小包までは宅配されるが、大型荷物の場合は、PTTから届く通知書とパスポートを持って、トプカプのPTT本部(詳細はPart3イエローページを参照)に引き取りに行く必要がある。しかし、ラマダン明けの砂糖祭などの特別な期間を除き、荷物の引き取りは容易ではない。なお、紛失はほとんどない。

PTTは市内の各所にあり、手紙や小型小包の発送ができるが、小包はなかを見せてからでないと受け付けてもらえないことがある。また、大型小包を発送する場合は、トプカプのPTT本部へ行かなければならない。

#### (2) 課税

大型小包は、新年とラマダン明けの砂糖祭、犠牲祭の前後は通関が容易で、無税または課税額が低いとされているが、実際は担当職員の判断によるのが実情である。課税率は時には200～300%にもなるので、急がない荷物は前述の時期に送ってもらうようにするとよい。

週刊誌2～3冊ぐらいまでなら、無税で宅配される。



Yellow Page

## (3) 国際宅配サービス



DHL、UPSなどがある。日本への荷物は2～3日で届き、便利である。

## 9. コンピューター

## 9-1 ハード、ソフト

## (1) 調達の方法

普及がめざましく、事情は刻々と変化している。記憶媒体は日本で普及しているものが現地で調達できるとは限らないので、必要に応じて確認すること。オペレーションシステムとしては、Macintoshは一般的ではなく、Windowsが主流である。大半のアプリケーションやソフト、周辺機器（プリンター、各種ドライバー、スキャナーなど）、消耗品類は現地で調達でき、英語仕様とトルコ語仕様ともに問題ないが、日本語仕様のソフトの調達は期待できない。

## (2) 使用の際の注意

電圧変動はあまりないため、スタビライザーは不要。しかし、用心のため、高額な電子機材などには、UPSを使っている。

海賊版ソフトはかなり出回っているようであるが、常識的に利用すべきではないであろう。ウイルス対策としては、アンチウイルスソフトを定期的にアップデートして対応する必要がある。

## (3) 修理

パソコンのマザーボードの交換くらいまでは修理が可能である。修理会社には Dell Distribution Ltd. Turkeyがある（詳細はPart3イエローページを参照）。

10. 職場環境、  
勤務条件

## 10-1 職場環境、勤務条件

## (1) 就業時間

就業時間は、9:00～17:00、昼休みは12:30～13:30である。

## (2) 有給休暇

年間30日間の有給休暇あり。

## (3) 執務室

通常個室である。

## (4) 通勤事情

JICA専門家全員が自家用車での通勤である。大学教職員用スクールバスが複数の路線をカバーしているが、経路、時間などの問題があるので、JICA専門家にはあまり利用されていない。

## 11. 出入国手続き

### 11-1 入国

#### (1) 空港施設概要

イスタンブールのアタチュルク国際空港はトルコの表玄関として、近代的な施設を擁する空港である。国内線ターミナルと国際線ターミナルは回廊でつながっていて徒歩で移動可能であるが、10分程度の所要時間を見る必要がある。

入口には常時2～3人の警察官がおり、所持品のチェックや身体検査がある。出迎え人の入場はロビーまでである。

#### (2) 入国手続き書類

出入国カードによる手続きは行っていない。通常、イエローカード(予防接種証明書)の検査はないが、コレラ発生地域からの旅行者には必要となっている。

外貨の持ち込み制限はない。

トルコに3か月以上滞在する場合には、イカメット(Ikamet)と呼ばれる滞在許可証を取得する必要がある。イカメットは身分証明書であり、ビザの代わりでもあり、これがなければ税関から荷物を引き出すことはできず、外国旅行にも出られない。車を購入する際にも必要である。

#### <イカメット(Ikamet)取得手続き>

通常、配属先からイカメット発行依頼がProvincial Directorate of Security(日本で言うところの県警)に提出される。ここでの審査は、配属先の精通度合いにもよるが、上部組織に伺いを立てるため約1ヶ月かかる。したがって、着任後ただちに取得手続きを開始する。審査終了後、書類はProvincial directorate of Securityに戻され、ここに本人が申請書を提出してイカメットを受け取ることになる。申請に必要なものは、A5サイズのフォーム1通、A4サイズのフォーム1通、配属先発行の勤務証明書1通、写真6枚、パスポートおよび手数料である。

警察本部に書類とパスポートを預け(受取証をもらう)たあと、数日でイカメットが発行される。家族(子供含む)もイカメットを取得しなくてはならない。

なお、受け入れ機関によっては、イカメットのことを全く知らないこともある。その場合は、カウンターパートに、警察本部の担当窓口(Yabancilar Subesi)に申し込み方法を問い合わせるように依頼する。

イカメットはいわば身分証明書であり、常に携帯したほうがよい。国内旅行の場合、イカメットがあればパスポートは不要である。出入国の時は必ずナンバーなどのチェックがある。パスポートの有効期限までの範囲内でしかイカメットの延長はできないので、パスポートを先に更新しておかなければならない場合もある。

#### (3) 入国審査

パスポートを審査官に提出するのみである。

#### (4) 税関検査

紙巻きタバコ200本、葉巻50本、酒類(100cc)5本、コーヒー1.5kg、紅茶500g、チョコレート1kg、菓子1kg、小型PC1台、携帯TV(画面16cmまで)1台、ポータブ

ルCDプレーヤー1台、ポータブルラジカセ1台、カメラ1台、フィルム5本、ビデオカメラ1台、ビデオテープ5本、香水(120ml)5本までが免税の範囲となっている。

貴重品、15,000米ドル以上の価値のある品物は出国時の証明のために、入国時にパスポートに登録しておく必要がある。

鋭利な道具(キャンプナイフなど)、武器、銃器、火薬類、麻薬、ポルノビデオ・雑誌などは持ち込み禁止である。

一般的なスーツケースが1～2個であれば、厳密な検査はほとんどない。しかし、明らかに機材とわかる荷姿の場合や、段ボール箱がいくつもある場合は開梱を要求される。電化製品(変圧器も含む)、薬品、ビデオテープ、大量の食料品などは、厳しくチェックされることが多い。

電化製品やコンピューター類は、出国時に持ち出す旨をパスポートに明記して通関できることもある。この場合、Temporary Importationとして処理されるので、任国外旅行などの際に持ち出すことを要求されないように、輸送会社などを通してしかるべき手続きを済ませる必要がある。電化製品の有無を問われた際は、「ない」と答えるのが無難である。

骨董品、手織りのじゅうたんなどを持ち込む際は、申告しておかなければ持ち出せなくなることがあるので注意する。

#### (5) 空港内での留意点

空港内および空港周辺の写真撮影は禁止されている。盗難、事故発生の場合は、空港内を常時パトロールしている警察官に届けるか、インフォメーションサービスに通報を依頼する。病気の場合にもインフォメーションサービスで救急車の手配などを行ってくれる。

#### (6) 空港からの主な交通手段

空港から市内までは22kmほどで、渋滞していなければタクシーで約25分、YTL20程度で着く。ただし、近年イスタンブールの交通渋滞は激しいことから、通勤時間帯に中心街に移動する場合は、時間の余裕を十分に見る必要がある。

ほかにHavasと呼ばれるシャトルバスが空港～アクサライ～タクシム間を運行している(料金YTL8程度)。

#### (7) その他の留意点

両替は、空港内の銀行、両替商、PTT(郵便局)でできる。

## 11-2 出国

### (1) 出国時の概要

出発ロビーは到着ロビーの上(2階)にあるが、見送りはパスポートコントロールの前まで可能。

### (2) リコンファーム

一般的な規定どおり72時間以内に行う。

## (3)チェックイン

空港建物に入る際の荷物チェックは非常に厳しく、時間がかかる。特に、観光シーズンには観光客で混雑して、空港内へ入るにも20分ぐらいかかるので十分に注意すること。

## (4)空港利用税

トルコの場合、空港利用税は航空券購入時に徴収されている。

## (5)その他の留意点

再入国ビザ取得の必要はなく、イカメットの有効期限が切れていなければ自由に再入国できる。

## 11-3 帰国手続き

## (1)帰国時に必要な事務手続き

パスポートに免税扱いで購入した車について記載されている場合は、売却手続き時に領事館から受けた証明がなければ出国できないケースもあるので、注意する。ビザに関する手続きは不要で、空港のイミグレーションで滞在許可証を返却し、最終帰国であることを告げる。予防接種証明について特記事項はない。

## (2)車の処分

免税扱いで購入した車は外国人にしか売却できない。売却先を探すには、「Turkish Daily News」(英字紙)などに広告を載せる、『日本人会だより』に掲載する、知り合いの外国人に口コミで紹介してもらうなどの方法をとる。売却手続きは、たとえトルコ語を理解していても大変煩雑なため、一般的には代理店に依頼する。

## (3)家財道具の処分

長期滞在者が荷物を日本へ送る場合は、通関手続きが複雑なので、通関代理店を使う。必要書類はパスポート、イカメット、航空券、配属先の上司から税関長にあてた手紙などである。そのほか、代理店から要請されたものを揃える。

処分する場合は、『日本人会だより』を通じて希望者に譲るなどの方法がある。なお、電化製品やパソコンなど、入国時に登録されたものは、必ず日本へ持ち帰ることになっているので、十分に注意する。

## (4)住宅の明け渡し

賃貸契約条項のなかに、1カ月前に通告すれば明け渡すことができる旨の項目を必ず入れること。敷金を最終月の家賃に充当させることも明記し、電話代の精算にも気をつける。

以上のことは帰国時に必ずといってよいほど問題になるので、最初の家主との契約が肝心である。また、滞在中に家主との信頼関係を培うことが、スムーズな家の明け渡しにつながる。

## (5)外貨持ち出し規制

5000米ドル相当以上のトルコ・リラの持ち出しは禁止されている。

## 12. 治安、 緊急時の心得

※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

南東部地域では、クルド人独立国家の建設を主張するクルド労働者党(PKK)が、2004年5月にこれまで一方的に発出していた停戦宣言の破棄を表明したことから、治安部隊との衝突、爆弾テロ事件がたびたび発生している。

イスタンブール市では、2003年11月15日に市内2か所のシナゴーク(ユダヤ教の教会堂)において、また、同20日に英国総領事館及びHSBC銀行トルコ本部において、イスラム過激派によるとみられる大規模な爆発事件が連続して発生し、多数の死傷者を出した。この事件以降、爆弾爆発事件が(警察による不発処理も含む)が発生している。

また、エーゲ海や地中海に面した欧米人がよく訪れるリゾート地でも、しばしば爆発事件が発生し、外国人を含む死傷者が出ている。

外務省では、2006年12月現在、イスタンブール県及び南東部12県(トゥンジェリ、エラズー、ビンギョル、ディヤルバクル、マルディン、バトマン、ムシュ、ビトリス、シールト、ヴァン、ハッキヤーリ、シュルナク)を対象に、「十分に注意してください」との警戒措置を継続して呼びかけている。これら地域への旅行はもちろん、それ以外の地域であっても注意する必要がある。なお、治安情勢は急変することもあるため、旅行者は外務省の「海外安全ホームページ」などで常に最新の情報を入手すること。

なお、最近はクルド問題よりも、イラク情勢が色濃く現れており、大規模なテロ活動の例はないが、音響爆弾による威嚇テロは頻発している。トルコのイラク派兵が決定されてからは、抗議デモも中心地で行われている。

#### (2) 対処法

トルコ在留日本人の安全確保は、トルコ政府が第一義的責任を負っている。関係当局への連絡、通報については常日ごろから留意しておくことが必要である。

また、在イスタンブール日本総領事館との緊密な連絡網を確立するとともに、トルコ住民との良好な関係維持に努めることが肝要である。トルコ国内旅行中などに事件に身近に事件があった場合には、自分が被害に遭っていなくても、自分の安否を日本総領事館などの関係機関に連絡する。

できる限りラジオ、テレビを視聴し、的確な治安関係情報の入手に努めるとともに、平素から安全対策および緊急時の対応策も整えておかねばならない。

緊急時には総領事館の指示を仰ぐ。

### 12-2 強盗、盗難

#### (1) 一般的治安状況

強盗などは少ないが、近年は在留日本人が、こそ泥、スリなどの被害に遭った話をよく聞くので、注意すること。

## (2) 住宅の防犯対策

イスタンブールでは一戸建てがほとんどなく、アパートを借りることになる。1階を借りる時は鉄格子がついているところ、また、比較的人通りの多いところに面した部屋を借りるとよい。

ガードマン、番犬はアパートでは必要なく、そういったシステムもない。

## (3) 市中での防犯対策

防犯に関しては、イスラム圏とはいえ、イスタンブールのみ限定すればEU加盟は容易であるともいわれているほどの水準のため、基本的には良識ある態度でいけば問題はない。同様にイスタンブールのみ限定すれば、GDPが1万米ドルといわれている水準にある。

## (4) 注意すべき場所、危険地域

軽犯罪は観光地に多く発生している。観光ガイドに掲載されている名所旧跡周辺、タクシム広場などはスリ、引ったくりが多い。また、列車の駅構内や周辺、フェリー乗り場周辺も注意を要する。

## (5) 被害時の心得

一般的なことしか明言できないが、必要以上に騒いで相手を興奮させず、ものをとられた程度であれば身の安全を重視する。周囲の人に頼んで警察を呼んでもらって通報することも忘れないようにしたい。

被害や暴力を受けた時は警察へ届け出て、総領事館へ連絡すること。

入国時に持ち込んだ(パスポートに記録されている)電化製品や免税車などを盗まれた場合は、警察に盗難証明書を発行してもらい、出国の時に提示する必要がある。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

建造物が石造りのためか、火災はきわめて少ない。東部では地震がたまにあるが、イスタンブールではない。

### (2) 防災対策

特に対策は講じてはいない。

### (3) 被災時の心得

特に対策は講じていない。日本人会個人会員連絡網により連絡を徹底する。

## 12-4 緊急連絡先電話番号

関係当局の連絡先(電話番号)は次のとおりである。

- ・消防:110
- ・救急車:112
- ・警察:155
- ・ジャンダルマ(内務省保安隊):156(郊外、地方は警察でなく軍が担当)

- ・在トルコ日本大使館：312-446-0500(アンカラ)
- ・在イスタンブール総領事館：212-317-4600

## 13. 社交

### 13-1 風俗習慣

政教分離主義をとっているため、イスラム文化の影響は強くない。飲酒は自由で、男女共学である。服装も日本人と同様であり、イスタンブールでは黒いベールをかぶっている女性はほとんど見かけない。また、大都市では女性が職場に多数進出しており、銀行の支店長などが女性であることも珍しくない。

イスラム寺院は各地に多数あり、1日5回のお祈りには熱心な信者が参拝している。また、年配の女性のなかには、イスラム文化を重んじ、夏でもスカーフで髪の毛を隠している人を見かける。成人男性は、一部の知識人を除きひげをはやしている(軍人、警察官にはほとんどいない)。

トルコ人はチャイ(紅茶)が大好きで、1日何杯も甘いチャイを飲む。町なかには、男性のたまり場となっているチャイハネ(喫茶店のようなもの)があちこちにあり、人々が一日中話し込んでいる。

### 13-2 パーティーでの留意点

パーティーの機会はほとんどない。あっても特に留意点はなく、服装は男性ならスーツにネクタイ、女性ならワンピースなどで十分である。

### 13-3 来客時の留意点

トルコ人同士、また日本人(女性)に対しても、親しくなると両手で抱擁し、頬と頬をつけてあいさつを交わす。初めは驚くが、親愛の表現なのでそれに応えることが望ましい。ただし、男性から外国人女性にこのあいさつをすることはまずない。

### 13-4 訪問時の留意点

トルコ人のお宅に招待された時は、花束や鉢植え(街角でたくさん売っている)を持参するのが一般的である。また、一般にトルコ人は甘いものが好きなので、チョコレートを持参しても喜ばれる。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

政治や宗教に関する話題は避けたほうがよい。また、トルコ建国の父Kemal Ataturk(ケマル・アタチュルク)を批判することは一切許されない。全国どこへ行っても、アタチュルクの銅像があり、学校、オフィスには必ず写真が掲げられている。

### 13-6 日本人会

**Yellow Page**

会員数は法人企業47社、個人会員58名(2006年7月現在)である。事務局の常設の事務所はなく、会長の出身の会社で持ち回りとなる。活動内容は、日本人学校支援、夏行事、新年会開催(ビールパーティーなど)、安全対策検討、連絡網整備、領事館からの連絡徹底、巡回医師団派遣受け入れなど

日本人会はHPを持っており、最新の現地事情を入手するのに便利である。生活事情については、「生活便利帳」として、概況、住生活、トルコ語、医療、レストラン、観光等についてアップされている。

<http://www.nihonjinkai-ist.net/>

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

イスタンブールにはない。

### 13-8 現地の人々との交流

基本的には職場の同僚との付き合いが主流。休日にキャンプ場でバーベキューをしたり、夕食をともにする。その他は近所の店舗や魚屋のオーナーや店員との交流、同じアパートの住人とお茶会、外食など。トルコ語の家庭教師夫妻との外食、テニスなども楽しんでいる。現地校に通う子供たちの同級生、親同士の行き来も大切な交流の機会である。

## 14. 教育

### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

初等教育(6才～、8年)、中等教育(4年)、および大学がある。義務教育は初等教育の8年間となっている。公立学校の授業料は無料であるが、学校の物品、経費の一部は父兄が負担している。学校数が不足しているため、午前と午後で別の生徒が1つの校舎を使用することも多い。

有料の私立学校があり、「コレッジ」と呼ばれている。一般に、私立はレベルが高いといわれ、入学試験もある。

9～1月と2～6月までの2学期制で、夏休みは約3カ月ある。

希望の大学へ入学することは難しく、都市部ではほとんどの学生が予備校に通っている。

#### (2) 日本人学校

**Yellow Page**

小・中学生対象の全日制的イスタンブール日本人学校が1991年4月に開校した。一方、日本語補習校も日本人学校内に存続しており(ともに詳細はPart3イエローページを参照)、毎週土曜日の午前中、小・中学生を対象に開かれている。

子弟の教育については、海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

## &lt;海外子女教育振興財団&gt;

URL: <http://www.joes.or.jp/>E-mail: [service@joes.or.jp](mailto:service@joes.or.jp)

受付時間: 9:30~17:30(月~金、祝日・年末年始を除く)

## ・東京

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 6階

TEL: 03-4330-1349

FAX: 03-4330-1355

## ・関西分室

住所: 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-200 大阪駅前第一ビル 2階


TEL: 06-6344-4318

FAX: 06-6344-4328

## (3) 現地校、外国人学校

イスタンブールで外国語による教育を実施している学校は2~3校ある。

一部の在イスタンブール日本人子弟は、全日制日本人学校が開校した現在で

も、Istanbul International Community School (IICS) で学んでいる。

## (4) 幼稚園

Small Handsなど、ほとんどがプライベート幼稚園である。上記IICSにも幼稚園が併設されている。トルコ語での対応で問題なければ、ほとんどの私立幼稚園が外国人子弟でも受け入れてくれる。

**14-2 教育関係施設**

## (1) 図書館など

1町村に1~2カ所ある。

**15. 家庭の使用人****15-1 一般事情**

通い(週1~2回)の家政婦/夫を雇用することが多い。アパートのカプジュの奥さんか、家主が紹介してくれた人に依頼するのがよい。

運転手、ガードマン、庭師を雇用する習慣はなく、必要もない。

**15-2 運転手**

## (1) 雇用

外国人でも、車は自分で運転するのが一般的である。

## (2) 日常管理

該当情報なし。

## (3) 教育指導

該当情報なし。

## (4) その他の留意点

該当情報なし。

**15-3 家政婦／夫**

## (1) 仕事の種類と人数

週に1～2回来てもらうのが一般的である。窓ふき、床磨き、バス・トイレ掃除、家具磨き、アイロンがけ、洗濯、ベッドメイキングなどが主な仕事である。

## (2) 雇用

信用できる人からの口コミで探すのが一般的。選考のポイントは雇う側の必要性、依頼度にもよるが、有能であるよりも正直でまじめな人を選ぶようにしたい。

## (3) 日常管理

大切なものを出したままにしておかないように注意すること。就業時間をきちんと守ってもらうことが大切である。

**15-4 庭師、ガードマン**

該当情報なし。

**16. メディア****16-1 新聞、雑誌**

## (1) 現地発行の日刊紙

トルコには現在27の全国紙と400紙以上のローカル紙があるが、英字紙は「Turkish Daily News」のみである。

一般紙は街頭のスタンドで販売されている。「Turkish Daily News」については、カプジュに依頼して、毎朝買ってきてもらうこともできる。

・英語紙 : 「Turkish Daily News」

・トルコ語紙 : 「Hurriyet」「Milliyet」「Sabah」「Cumhuriyet」「Ates」「Gozcu」「Gunaydin」「Bugun」「Meydan」ほか

## (2) 日本の日刊紙

日本の日刊紙の購読は、日本でOCSに申し込んでおくとよい(詳細はPart3イエローページを参照)。ロンドン発行の衛星版が3日遅れほどで宅配される。

 Yellow Page

## (3) 欧米紙／誌

アメリカ、ドイツ、フランスなどの新聞が数種類あるが、すべて街頭販売であり、売られている場所は限られている。

## (4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物が購入できる書店はない。OCS経由の購読は日本のOCS経由が一般的。トルコに限らず、インターネットショッピングのAmazon.comが便利である。日本、その他の外国の書籍もエクスプレス便であれば1週間程度で宅配される。

## 16-2 ラジオ

### (1) ラジオ放送局

国営トルコ放送 (TRT) のほか、民放も数局ある。

### (2) NHK ワールド・ラジオ日本 (ラジオジャパン)

スリランカ経由またはガボン経由の中東・ヨーロッパ向け放送を、朝、夕ともにアンカラで聞くことができる。時期によっては受信状態が悪くなることもある。

使用周波数は3月、5月、9月、11月に変更され、放送などによって告知される。

<周波数表、番組表の入手>

URL : [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

### (3) 聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

## 16-3 テレビ

### (1) 地上波放送局

放送局は増えており、TRT1、TRT2、TRT3、TRT4、GAP、FLASH、TRT-INT、Star、On、a-TV、SHOW-TV、Kanal-6、HBBなどがある。カラー放送である。

### (2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

有線放送サービスのある地区では、CNNやBBCなども見ることができる。衛星放送ではデジタルが一般的で、欧米の主要番組 (BBC、BBC Prime、CNN、CNBC、TV5、RAI、National Geographic、Animal Channel、Euro Sportsなど) が視聴可能。NHKワールドTVとJSTVも見られる。衛星放送機材類を扱っている電器店経由で申し込む。

日本語による衛星放送として、欧州と中東をカバーするJSTVがある。ロンドンから24時間放送されており、NHK及び民放の番組が放送される。住居の向きによるが、ベランダなどにパラボラアンテナを立てることができれば、デジタルデコーダーを購入することによって視聴が可能となる。ただし、住居によっては美観の観点からパラボラアンテナ設置を認めていないこともある。

詳細は<http://www.jstv.co.uk/>を参照。

### (3) テレビ受信

受信方式は、日本のNTSC方式とは異なるPAL方式であるため、日本仕様のテレビでは受信できない。現地ではマルチシステムのテレビが市販されており、これを用いれば、どちらの方式でも受信できる。ビデオデッキやDVDデッキもマルチシステムの機器を使用すれば、日本で録画したものが再生できる。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習

### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

ゴルフ場はいくつかある。

## (2) テニス、フィットネス

日本人の居住する大半の集合住宅の敷地内には、施設が整備されている。

## (3) その他のスポーツ

- ・釣り: ボスポラス海峡沿いやマルマラ海沿岸で、アジ、イワンが釣れる。
- ・ヨット・モーターボートクルーズ: ヨットハーバーや旅行代理店がアレンジしてくれる。
- ・バスケットボール: 市内のいたるところにフリーの屋外バスケットコートがあり、空いていれば無料で利用できる。
- ・ジョギング、ウォーキング: 特に海岸沿いは絶好のコースである。

## 17-2 趣味

該当情報なし。

## 17-3 語学学習

## (1) 語学学習施設

市内に多くの語学学校があり、「Turkish Daily News」に常時広告が掲載されている。

## (2) 家庭教師

日本語が若干できる家庭教師がロコミで紹介されている。日本語での対応を考えなければ、「Turkish Daily News」に常時掲載されている。

## 18. 観光

## 18-1 地方旅行の留意点

イラン、イラクの国境に接している東部方面以外は、治安もよく、自由に旅行できる。外国人に対する規制は特にないが、地方へ出かける場合は、必ずパスポートもしくはイカメットを持参すること。

イスタンブールは世界的な観光地であり、市内の名所・旧跡はいつでも観光客でにぎわっている。近年、日本人観光客も多数入国している。日本人は警戒心が薄く、お金を持っていると思われるため、特に女性を中心とする日本人旅行者に被害が多数出ている。なかでもガラタ塔付近は評判がよくない。物売りは、無視するか、毅然とした態度を示すべきである。日本語や英語で話しかけてくる人には、十分に注意したほうがよい(子供でも安心してはいけない)。

被害に遭った場合は、警察に届けるが、盗難品(現金)が戻ることは期待できない。自分の身は自分で守るということを肝に銘ずるべきである。

## 18-2 主要観光地・保養地

## &lt;イスタンブール&gt;

アヤソフィア大聖堂、カーリエ・ジャミイ(通称モザイク教会)、ヴァレンス帝の水

道橋、地下宮殿、ブルー・モスク、トプカプ宮殿博物館、ドルマバフチェ宮殿、ルメール・ヒサール(征服王メフメット2世によって建てられた大要塞)、国立考古学博物館などがある。

#### <ブルサ>

温泉の名所である。イエシル・ジャミイ(緑のモスク)、イエシル・トウルベ(メフメット2世の廟)、ウルダー(スキーができる)など。

#### <エーゲ海地方>

イズミール、ベルガマ、エフェス(古代都市遺跡)、クシャダス、ボドルム、パムツカレなど。

#### <地中海地方>

アンタリヤ、シデ、アスペンドス、アランヤなど。

#### <アンカラ>

アタチュルク廟、考古学博物館、アンカラ城など。


#### <ギョレメ地方(カッパドキア)>

ウルギユップ(洞窟住居跡)、ウヒチサール、カイマクル(巨大な地下都市)など。

### 18-3 旅行代理店

ジユムヒュリエット通り沿いに多数の旅行代理店、航空会社がある。依頼できる内容は、国内ツアー、ホテル、レンタカー、航空券、クルージングの手配など。

主な旅行代理店は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- Duru Turizm
- Setur
- Iremtur


## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入

### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

輸送専門会社は市内に多数ある。個人の荷物であれば、大きな会社よりも小さな会社のほうが、小回りがきいて扱いが丁寧である。

日本人が利用して評判のよいところは次の2社である(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- Bergen
- Ozgur Nakliyet

これらの会社の取り扱い内容としては、個人家財の引き出しおよび送り出し、外国人用カーナンバーの取得、イカメットの取得などがある。

日本からの輸送に関しては、日本で信頼できる輸送会社に依頼し、梱包、発送、書類手続き全般を委託しての輸送となる。この際、イカメットがないと引き取

れず、荷物が現地到着後45日間で引き取らなければ没収されるため、イカメット取得期間(3カ月かかることもある)を十分考慮して発送のタイミングを計る必要がある。

#### (2) 輸入手続き

所属先のカウンターパートに手伝ってもらうなどして、わずかな費用で引き取ることもできるが、これは手続きが複雑な上、非常に時間がかかる。したがって、必要書類が船会社などから送られてきた時点で、輸送会社に連絡をとり、引き取りを依頼したほうがよい。また、専門の会社を通したほうが、帰国時に必要書類を揃えるのにも都合がよい。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

イスタンブール港(アタチュルク国際空港)である。

## 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

タクシー、バス、船などの交通機関が整っており、清潔、安全で料金も安いことなどから、車は必ずしも必要とはいえない。ただし、子供のいる人、不便なところに住む人などは持ったほうがよい。

ノックダウン方式で国内生産されている車が数種類あり、安価で入手できる。JICA専門家のほとんどはトルコ国産車や中古の輸入車を利用している。

#### (2) 輸入手続き

国産車の保護のための外国車の輸入規制が厳しく、手続きも複雑なので、現地で購入したほうがよい。

#### (3) 現地での購入

国内生産車には、トヨタ、ホンダ、ドーアン、カルタル、フォード、フィアット、ルノーなどがある。これらは外国からの技術導入により品質がよく、安価で入手できる。

中古車の場合は、ベンツ、BMWなどがよい。これらは青のナンバープレート(外国人免税車。外国人は関税を免税される)が多く、比較的安値で入手することができる。前任者、日本大使館関係者、その他の外国人からの口コミ、または「Turkish Daily News」の広告を利用するとよい。

登録にはイカメットが必要で、配属先の就労証明、パスポートの翻訳証明(翻訳会社で翻訳し、居住地または職場所在地の管轄公証役場で取得)とともに代理店に手続きを依頼する。個人からの購入の場合にも代理店に依頼したほうが、迅速で確実。登録料もすべて込みで500米ドル程度は必要。同時に強制、任意保険手続きも行ってくれる。

#### (4) 自動車登録

ナンバープレートには大きく分けて、一般(白)、公用(黒)、外国人免税車(青)がある。外国人免税車はすべてMナンバーとなる。このMナンバーの取得手続き

は複雑なので、前述の輸送会社に任せたほうがよい。

(5) 免許証取得

国際免許証が通用するが、有効期間は1年である。その後は、日本の免許証を日本総領事館で翻訳証明してもらったものが通用する。

(6) 保険、税金

対物・対人保険があるが、年間の掛け金に比べて補償金額は少ない。車種によっても掛け金は異なる。強制保険もある。

税金は取得税、登録税(車の取得時)、重量税(1年に2度。車種および年代によって異なる)がある。

## 20. 地方都市

該当情報なし。

## Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、イスタンブールの情報が中心になっています。

## 1. JICA 事務所

所在地 MNG Building 6th floor B Block Uqur Mumcu Cad. 88/6 Gaziosmanpasa. 06700 Ankara Turkey  
 TEL/FAX TEL: +90-312-447-2530~3 FAX: +90-312-447-2534  
 URL/E-mail URL: <http://www.jica.go.jp/turkey/>

## 2. 日本大使館／在イスタンブール総領事館

・日本大使館

所在地 Resit Galip Cad. No.81. Gaziosmanpasa. Ankara  
 TEL/FAX TEL: 312-446-0500 FAX: 312-437-1812  
 URL/E-mail URL: <http://www.tr.emb-japan.go.jp>

・在イスタンブール総領事館

所在地 Tekfentower 10th Floor. Buyukdere Cad. NO.209. 4. Levent. Istanbul  
 TEL/FAX TEL: 212-317-4600 FAX: 212-317-4604  
 URL/E-mail URL: <http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp>

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館 TEL: 312-446-0500  
 在イスタンブール  
 総領事館 TEL: 212-317-4600  
 警察 TEL: 155 (郊外・地方の場合: ジャンダルマ (内務省保安隊): 156  
 消防、救急車 消防 TEL: 110 救急 TEL: 112

## 4. ホテル

※以下の各ホテルに関するより詳しい情報は、<http://www.istanbul.com> を参照。

&lt;デラックスおよび 5 つ星ホテル&gt;

・The Ritz Carlton Istanbul

Elmadag  
 TEL: 212-334-4444  
 FAX: 212-334-4455

・Conrad Istanbul

Besiktas  
 TEL: 212-227-3000  
 FAX: 212-259-6667

・Swiss Hotel

Macka  
 TEL: 212-326-1100  
 FAX: 212-259-0105

・The Marmara Istanbul

Taksim Meydani  
 TEL: 212-251-4696  
 FAX: 212-244-0509

・Divan

Taksim  
 TEL: 212-231-4100  
 FAX: 212-248-8527

・Hilton

Harbye  
 TEL: 212-231-4646  
 FAX: 212-240-4165

・Hyatt Regency

Taksim  
 TEL: 212-225-7000  
 FAX: 212-225-7007

・Sheraton Towers and Hotel

Taksim  
 TEL: 212-231-2121  
 FAX: 212-231-2180

## &lt;4 つ星ホテル&gt;

## ・Point Hotel Taksim

Topcu Cak. 2, Taksim  
 TEL: 212-313-5000  
 FAX: 212-313-5030

## ・Nippon

Topcu Cad. 10, Taksim  
 TEL: 212-254-9900  
 FAX: 212-250-4553

## ・Holiday Inn

Atakoy  
 TEL: 212-560-4110  
 FAX: 212-559-4919

## ・Savoy Hotel

Siraselviller Cad. 29  
 TEL: 212-252-9326  
 FAX: 212-243-2010

## 5. 不動産会社

## ・Nazmi Yapar

Akatlar, Zeytinoglu Cad. No.25 Dekor Apt. C Blok Da:2 Etiler  
 TEL: 212-352-0532  
 FAX: 212-352-0531  
 E-mail: nazmiyapar@superonline.com  
 ヨーロッパ側にある。日本語が若干わかる社員がいる。

## ・REMAX

Kiziltoprak, Bagdat Caddesi Ihlamur Sokak B Blok No:1, Kadikoy  
 TEL: 216-449-2828  
 FAX: 216-414-9503  
 URL: <http://www.remax.com.tr>  
 E-mail: cagdem@remax-ant.com  
 アジア側にある。

## 6. 飲食店

※以下の各店に関するより詳しい情報は、<http://www.istanbul.com> を参照。

## &lt;日本料理&gt;

## ・Miyako

Swiss Hotel, Macka  
 TEL: 212-259-0101

## ・豊

Hyatt Regency, Taksim  
 TEL: 212-231-1283

## ・優曇也 (Udonya)

Point Hotel, Taksim  
 TEL: 212-256-9318

## &lt;韓国料理&gt;

## ・Tegik

Recep Pasa Cad. 20, Elmadag (タクシムに近い)  
 TEL: 212-254-7172, 212-254-6699  
 営業: 12:00~15:00, 18:00~21:00, 日曜は夕食のみ。

## ・Seoul

Nispetiye Cad. 41, Etiler  
 TEL: 212-263-6087  
 営業: 12:00~15:00, 18:00~24:00 (カラオケルーム 19:00~3:00, 日休)

## &lt;中国料理&gt;

## ・Dragon

Hilton Hotel, Harbiye  
 TEL: 212-231-6200  
 営業: 12:00~14:30 (土・日 12:30~15:00), 19:00~24:00 (月休)

•Dynasty	Merit Antile Hotel, Laleli TEL: 212-513-9300 営業: 12:00~14:30、19:00~23:00(日休)
•Ku Kong	Swiss Hotel, Macka TEL: 212-259-0101 営業: 水休
<トルコ料理>	
•Beyti	Orman Cad. 8, Florya TEL: 212-663-2990 営業: 12:00~24:00(月休) 肉料理専門店。空港に近い。
•Hacibaba	Istiklal Cad. 49, Beyoglu TEL: 212-244-1886 営業: 12:00~24:00(無休) タクシムに近い。
<魚料理>	
•Mavi Balik	Muallim Naci Cad. 64/2 TEL: 212-265-5480 ボスポラス海峡が見渡せる。
•Urcan	Orta Cesme Cad. 2/1, Sariyer TEL: 212-242-0367 営業: 12:00~24:00(無休)。 サライエル魚市場のそば。
•Korfez	Korfez Cad. 78, Kanlica TEL: 216-413-4314 営業: 12:00~24:00(月休) アジア側にある。
•Han	Yahya Kemal Cad. 10, Rumelihisari TEL: 212-265-2968 営業: 12:00~24:00

## 7. 医療機関

## &lt;総合病院&gt;

•Acibadem Hospital	Tekin Sok. 8 Kadiköy 34718 Istanbul TEL: 216-544-4444
•Admiral Bristol Hospital (アメリカ病院)	Guzelbahce Sok. Nisantasi TEL: 212-311-2000 備考: 入院可。個室・2 人部屋あり、バス・トイレ付き。英語を話す医師が多い。
•German Hospital (ドイツ病院)	Siraselviler Cad. 119 Taksim TEL: 212-293-2150

## &lt;内科&gt;

•Prof. Nazif Bagriactk	Cerrahpasa Medical Faculty, Rumeli Cad. 25/27 Nisantasi TEL: 212-247-8803、212-231-7800
•Prof. Kemalettin Buyukozturk	Capa Medical Faculty, Lamartin Cad. 49/3 Somtas Apt. Taksim TEL: 212-250-7081/6707

•Prof. Kenan Binak	Vali Konag1 Cad. Sakay1k Sok. 57 TEL:212-240-8607
•Prof. Ali Ekmekci	Samanyolu Sok. 10/3 Osmanbey TEL:212-247-1010
•Dr. Semir Abbasoglu	Etfal Hospital, Sisli, Husrev Gereade Cad. 112 Tesvikiye TEL:212-236-1250
•Dr. Oryal Gokdemir	Bagdat Cad. 318/A Blok Erenkoy TEL:212-235-6453
<小児科>	
•Prof. Gunay Saner	Capa Medical Faculty, Hacleminefendi Sok. 40/42 1st Floor, Nisantasi TEL:212-247-8384
•Dr. Perihan Ozren	American Hospital, Akkavak Sok. Sokmen Apt. No.9/3 Nisantasi TEL:212-247-9784、212-246-2712(自宅)
•Dr. Kutlu Altikulac	Kuyulu Bostan Sok. Tan Apt. No.27/1 Nisantasi TEL:212-247-8124
<泌尿器科>	
•Prof. Gurbuz Barlas	American Hospital, Guzelbahce Sok. 35/1 Nisantasi TEL:212-248-2209、212-241-4354 FAX :212-2472147
•Asst. Prof. Akif Akaydin	Cerrahpasa Medical Faculty, Rumeli Cad. Nur Apt. No.35/37 Nisantasi TEL:212-247-3288
•Asst. Prof. Halim Hattat	Cerrahpasa Medical Faculty, American Hospital, Vali Konag1 Cad. Altun Apt. No.87 Nisantasi TEL:212-241-1403
<婦人科>	
•Prof. Turgay Atasu	Cerrahpasa Medical Faculty, Tesvikiye Cad. 113 Tesvikiye TEL:212-246-9287
•Prof. Cevat Babuna	Capa Medical Faculty, Halaskargazi Cad. Bulbul Apt. No.289/B Sisli 2nd Floor TEL:212-247-7406、212-241-3651、212-358-0578(自宅)
•Prof. Selcuk Erez	Cerrahpasa Medical Faculty, Mete Cad. Suren Apt. No.19/4 Taksim TEL:212-245-1943、212-252-5799
•Prof. Cezmi Kazancigil	American Hospital, Lamartin Cad. 48/4 Taksim TEL:212-150-7018
•Prof. Ruknettin Tozum	Pakize Tarzi Clinic, Halaskargazi Cad. 274/83 Sisli TEL:212-248-4444、212-246-3939
•Prof. Sina Tukel	American Hospital, Hayat Hospital, Cumhuriyet Cad. 315/1 Harbye TEL:212-241-0110、212-232-3073
•Dr. Can Daver	Can Hospital, Tayyareci Cemal Sok. 37 Sisli TEL:212-248-1828、212-234-3110
•Dr. Teksen Camlibel	Tesvikiye Cad. Ismet Apt. No.131/2 TEL:212-246-5200、212-248-3086 FAX :212-241-3672
•Dr. Vedat Dayicioglu	Bahariye Cad. (Altiyol Girisi), ATA Apt. No.8, K5, Kadikoy

TEL:212-345-2934

## &lt;消化器科&gt;

・Dr. Oznur Kusakcioglu

American Hospital, Vali Konag1 Cad. 72 Mim Kemal Apt. 2nd Floor

TEL:212-246-9966

## &lt;眼科&gt;

・Prof. Demir Basar

Capa Medical Faculty, Guzelbahce Hospital, Vali Konag1 Cad. Konak Apt. 127/4 Nisantasi

TEL:212-240-7967、212-231-2628

・Prof. Unal Bengisu

German Hospital, Meselik Abdullah Sok. Bengisu Apt. No. 2 Taksim

TEL:212-244-2972

・Prof. Fazil Sezen

Capa Medical Hospital, Abidehurriyet Cad. Abide Palas No.259 Sisli

TEL:212-230-2988、212-240-2259

・Dr. Vedat Yigitsubay

Halaskargazi Cad. 228/1 Sisli

TEL:212-248-3363

・Dr. Yilmaz Sivrikaya

American Hospital, Tayyareci Cemsi Sok. 21/3 Sisli

TEL:212-247-2576、212-230-4500

## &lt;皮膚科&gt;

・Prof. Tarik Kirbakan

Capa Medical Faculty, Istiklal Cad. 66, Beyoglu

TEL:212-244-1073

・Prof. Ahmet Murat

Capa Medical Faculty, Vali Konag1 Cad. 107 Nisantasi

TEL:212-246-3849/4383

・Prof. Nevzat Oke

Capa Medical Faculty, Mete Cad. 18/6 Taksim

TEL:212-245-2748

・Prof. Haliit Savaskan

Cerrahpasa Medical Faculty, Tesvikiye Meydan1 No. 142/2

TEL:212-236-1763

・Asst. Prof. Adem Koslu

Etfal Hospital, Halaskargazi Cad. Cevher Apt. No. 391/1 Sisli

TEL:212-241-0404、212-231-2535

## &lt;耳鼻咽喉科&gt;

・Prof. Behbut Cevansir

Capa Medical Faculty, Tesvikiye Cad. 129/1 Nisantasi

TEL:212-246-5265

・Prof. Sedat Katircioglu

Capa Medical Faculty, Halaskargazi Cad. 289

TEL:212-246-5868、212-234-5191

・Prof. Aslan Akmandil

Capa Medical Faculty, Macka Cad. Tuncer Apt. No.33/1

TEL:212-240-4066、212-241-1984

・Asst. Prof. Aras Senvar

Etfal Hospital, Rumeli Cad. Zafer Sok. 62/5 Nisantasi

TEL:212-248-4415、212-230-4938

・Dr. Emin Mumcuoglu

American Hospital, Vali Konag1 Cad. Kuyumcu Irfan Sok. 8/1 Nisantasi

TEL:212-240-5929

・Dr. Mehmet Kulekci

Ahmet Fetgari (Kalpci) Sok. 150/4, Tesvikiye

TEL:212-234-2653、212-248-4539

## &lt; 歯科 &gt;

・Dr. Vural Cankat

Inonu Cad. Ayazpasa Palas No.35/3 Ayazpasa  
TEL: 212-245-7080

・Dr. Ferhat Akat

Halaskargazi Cad. Erler Han 207/A Sisli  
TEL: 212-241-5435、212-248-9344

・Dr. Isil Evcimik

Kal1pc1 Sok. Trakya Apt. No. 110/3 Tesvikiye  
TEL: 212-258-0458

・Dr. Sedar Soy Turk

Inonu Cad. Cami Sok. 16 Ayazpasa  
TEL: 212-244-7551

## &lt; 検査機関 &gt;

・Capa Central Laboratory

TEL: 212-585-3240  
検査は病院から直接依頼される。

・Intermed Health Control Center

TEL: 212-225-0660  
検査は病院から直接依頼される。

## 8. レンタカー会社

・Gemini Tourizm

TEL: 212-275-3384  
FAX: 212-275-3386  
E-mail: salimberberoglu@geminitourism.com

・AVIS

TEL: 212-516-6109、212-241-2917

・Budget

TEL: 212-253-9200/6563

・Eurocar

TEL: 212-254-7799

・Lets

TEL: 212-255-2431

## 9. 郵便

・Topkap PTT Paket Mudullugu (PTT 本部、トプカプ小包郵便局)

Darutpasa Cad. No.99, Cevizlibag, Istanbul

## 10. 国際宅配便会社

・DHL

TEL: 212-478-1100  
FAX: 212-478-1400

UPS

TEL: 212  
FAX: 212

## 11. コンピュータ修理会社

・Dell Distribution Ltd. Turkey

Eski Uskudar Cad. Cayir Yolu Soku. Ay Plaza 2/1 347552 Istanbul  
TEL: 216-575-0808

## 12. 日本人会

URL: <http://www.nihonjinkai-ist.net>

## 13. 教育機関

## &lt;日本人学校&gt;

## ・イスタンブール補習授業校

TEL&amp; FAX:212-287-1506

Tanburi Ali Efendi Sok. No:16 80600 Etiler

## &lt;外国人学校&gt;

## ・Istanbul International Community School (IICS、幼稚園・小・中学校)

Marmara Campus

Karaagac Koyu, Hadimkoy, Istanbul 34866

TEL:212-857-8264

Hisar Campus

Nafi Baba Sok. No:1, Rumeli Hisari, Istanbul

TEL:212-287-2770

授業料その他:直接確認すること。

歴史は古く、1911 年にロバート・カレッジ・コミュニティスクールとして創立され、79 年に改称された。厳選された教授陣とアメリカ式カリキュラムにより質の高い教育を行っている。外国語の時間を除き、すべて英語による授業。約 30 カ国の子弟が在学しており、英語力が不足している生徒のための語学授業も用意されている。学期は 9 月初旬に始まり、6 月中旬に終了する。有料のスクールバスがある(運行は主にヨーロッパ側)。

## &lt;幼稚園&gt;

## ・Small Hands

TEL:212-287-4785

FAX:212-287-1568

E-mail:info@small-hands.com

対象年齢:4 歳から

使用言語:英語と日本語

日本人学校と同じ Etiler 地区にある。

## 14. 日本の新聞の購読

## ・海外新聞普及(株)(OCS)

輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL:03-5476-8131

FAX:03-3453-8091

URL: <http://www.ocs.co.jp/>

E-mail:subs@ocs.co.jp

## 15. 旅行代理店

## ・Duru Turizm

Cumhuriyet Cad. 243 Harbiye

TEL:212-231-9008

FAX:212-241-7158

## ・Setur

Cumhuriyet Cad. 107 Elmadag

TEL:212-230-0336

FAX:212-230-3219

## ・Iremtur

Nispetiye Cad. Sirin Apt. 48/11 Etiler

TEL:212-265-8405、212-296-2503

FAX:212-230-3027

## 16. 輸送会社

## ・Bergen

Kore Sehitleri Cad. Yzb. Kaya Aldogan Sok. 3/6 Zincirlikuyu 80300

TEL:212-275-1531

## ・Ozgur Nakliyet

Kemeralti Cad. Dogan Han 34/1 Karakoy

TEL:212-243-2574